

まあるいじかん2

～顔晴る=かっこいい～

篠山東中学校2年生学級通信 No.4

平成31年4月17日発行



文責：木村 匡宏

みんなで考えた学年目標

4月10日（水）は第22回入学式でした。4月とは思えない気温の低さ、降りしきる雨・・・。そんなコンディションの悪さの中でも心温まる素晴らしい式だったと思います。2年生も集中して式に臨んでいました。

この入学式を終え、翌日のチャレンジノートにもたくさんのコメントがありました。新入生の顔を見て、昨年度の自分たちに重ね合わせた人。入学式で今まであまり実感のなかった“先輩になった”という実感ができた人などなど。1年前の自分たちの不安なども重ねながら、よきサポートをしてあげてください。それが“先輩”というものです。

話は変わりますが、9日（火）にはみんなで2年生の学年目標を決めました。学年の目標はもちろん“まあるいじかん”です。でももう1つ自分たちで考えた目標を作ろうと考えました。そうして決まった学年目標は・・・

Tree

挑み、創る 34人の笑顔

に決まりました。

学級風紀委員は、全体の意見を上手く吸い上げながら、上手に進行していたと思います。まずはどんなクラスにしたいかの意見を出し合い、それを参考に目標を考えていきました。出てきた意見は・・・

- ・明るいクラス
- ・まとまったクラス
- ・挑戦するクラス
- ・全力でとりくむ！
- ・注意しあえるクラス
- ・笑顔なクラス
- ・助け合えるクラス
- ・自分の意見を言えるクラス
- ・みんなのために動けるクラス

これらを参考に班で1つのアイデアに絞る。その時の進行のスムーズさにびっくり！パッと班を作り、机をくっつけて司会や記録の役割を決めて・・・。班内ではいろんな“学級目標案”を出し合っていました。ある班はとにかくいろんなアイデアを出す。ある班は1つの案に絞って、その意味をじっくり考える・・・。班によってそれぞれでしたが、活発な意見交換が行われていました。



そして「リング」、「SUN」、「羽一努（バード）」、「天晴！」などなどいろんなアイデアが出る中で決まったのが班プレゼンツの“Tree”でした。

Treeの木の幹は「まとまりのある仲間」を表し、枝は「それぞれの個性」を表す。そしてそんな木になる実は「努力の実」それを5班山本さんがプレゼンしてくれた時には、先生方からも「ほおー！」という声が洩れました。そしてたくさんの人の賛成を受けて、学年目標に決定しました。

そしてみんなの意見を参考にしながら、学級風紀委員が提案したTreeにつけたサブタイトル「挑み、創る 34人の笑顔」になりました。

目標決め全般を通して、協力して話し合うクラスの姿勢、アイデアを認め合うクラスの姿勢などなど、素晴らしい面をたくさん見せてもらいました！

